

気候変動・地球温暖化

高木善之

地球温暖化というのがどんなことなのか？地球にとって、私達の生活にとってどの様に影響をしていくのか、そして私達に出来ることは？高木さんの講演会のお話をまとめてみました。

皆さんは地球が昔と比べてかなり暑くなったと思いますか？暑くなったとすると何度位上がったと思いますか。実は50年前と比べても0.3度しか変わっていないのです。60年前と比べても0.2度か0.3度。そして140年前と比べても0.5度。つまり産業革命で石炭、石油を燃やしてジワジワと上がってきてもまだ0.5度しか上がっていませんでした。それが100年後にはその10倍温度が上がると言われています。これは国連のIPCCという地球温暖化の専門委員会の最新データによるもので、100年後のデータでは5.8度約6度。過去200年間の温度上昇の10倍。温度が10倍上がるということはどうゆうことかということ、例えば氷河期と比べてみましょう。氷河期は今よりどのくらい温度が低かったかというと、10、20度くらいかな？と普通考えますが最も大きな氷河期で大抵現在より5～6度しか低くなかったのです。そのときの海面は100メートル以上低かったのです。

南極の氷が全部溶けるだけで海面は70メートル上がります。ということは温度が6度上がれば海面はどうなるか。実は海面上昇は温度上昇よりも遅れます、温度が上がって氷が溶けてもなかなか海までいかない、エベレストの雪は海に出るまで100年以上かかります。温度上昇は100年後に大体6度位上がる、でも海面上昇は100年後には約5m。5m！良かった！と思うかもしれませんが海面が5m上がったらどうなるか。これは政府の環境省の資料データですが海面が5m上がると関東の主要都市は沈みます。横浜、東京、千葉、埼玉県の奥まで東京湾が入ってしまいます。茨城県の半分は水没する、これが海面5m上昇です。しかし海面5mで止まるのではなくてずっと上がり続けていきます。

勿論世界も同じです、世界の50の国が沈む事になります。主要都市というのはほとんどが平野部にあり傍には大きな川があります。例えば日本だと東京は江戸川河口、大阪は淀川。ロンドンにはテムズ川、カイロにはナイル川、パリにはセーヌ川。大きな川の河口に大都市が生まれるのです。大都市は平野部の低いところにあるから海面が5m上がれば大都市はほとんど水没してしまいます。

NHKで放送された「沈み始めた南の国」という番組ではツバルやキリバスが沈んでいるのを映しています。既に30cmも沈んだのです。30cm沈んだら井戸水がもう飲めない、畑にも塩がはいつてきてもう畑もできない、こんな事態が既に始まっているのです。高木さんが海面5m上昇ですよ、という少し環境問題を知っている人から「それはおかしいですよ！」と言われるそうです。日本政府の発表では100年後には最大80cmと言っているからです。でも□木さんのデータは全て国連のデータなのです。現実にはツバルという国が既に30cmも上がってしまっている。にも拘わらず100年後に80cmというデータはおかしくはないでしょうか・・・

何故そんなに発表される数値が違うのでしょうか。実はこの国連が発表したデータにアメリカ政府が強い圧力をかけたからなのです。そんな数値を発表したら世界中の経済が止まってしまう、何て事を言うのだ、データを変えろ！と。そしてそれに反対したIPCCの委員長は解任されました。またデータは変えられない、と言った科学者も解任されてしまったのです。そしてアメリカの息のかかっている人達がデータを改ざんしました。そして80cmと言うデータをアメリカが流し、それを日本が採用しました。科学的なデータさえも政治が変わるのです。更にアメリカ政府はアメリカの環境省に対して地球温暖化というのは怪しい、それは削除するようにということでアメリカ政府の環境白書からは地球温暖化というものは全面削除されました・・・アメリカの行政のデータからは地球温暖化は消えたのです。そして日本はその流れです。アメリカ追従です。

前出のツバル、キリバスの話しに関連しますが地球上の平野部が水没するとどうなるのか。平野部にあるのはほとんどが畑なんですね。畑がなくなる、ということは食料がなくなる、地球温暖化というのは実は食料問題でもあるのです。

そして世界で最も食料が危険な国は日本なのです。では何故こんな事になってしまったのでしょうか。戦争に負けたから？じゃ、ドイツを見てください。日本は国を挙げて畑を潰す、農業を潰す政治をしたのです。工業立国、畑を潰して高速道路、畑を潰して工場、畑を潰して工業団地、畑を潰して経済と徹底して行った国なんです。実はそんな国は他にはないんですね。工業立国日本は皆が自動車、皆が電気製品、皆が便利快適、皆がエネルギーを消費する社会になってしまいました。でも日本にはエネルギーがないので 94%輸入しています、今もし石油を止められたらどうなります？食料が止まったらどうなります？

50 年以上前の日本は食料を輸入していませんでした。戦争中も石油を輸入しながら戦争をしていたのでないのです、日本は自給自足の社会だったのです。戦後 60 年かけて私達はこんな社会を作ってきました。そして困ったことに食料が輸入できなくなったら日本の 7 割は滅びます。地球温暖化による熱波、豪雨、干ばつ、地球規模の異常気象で農業に壊滅的なダメージを与え既に世界の穀物、食料は底をつき始めているのです。

日本政府の食料輸入途絶マニュアルでは米は配給制、主食は芋類となっていますが日本は減反政策を止めていないのです。同じ面積なら畑より工場の方が儲かるから、と製造基盤を犠牲にしてしまっているのです。でも製造基盤（畑）より大事なものは無いのです。日本の政治経済、教育は正しかったのでしょうか？子供達に必要なのは GNP ではなかったのです。そしてこれを解決する為には炭酸ガスを 60%以上約 80%削減しないとイケないというのが結論です。世界全体で 6 割 8 割減らすということは日本も 6 割 8 割減らせばいいのかというと、そうではないのです。地球上には減らしたくても減らせない国が 7 割 8 割もあるのです。日本は世界の貧しい国の 500 倍の炭酸ガスを出しています。しかもこれは一人あたりで。アメリカはそれを上回る 1000 倍の炭酸ガスを出しています。便利快適な生活は沢山のエネルギーを使うことは前に言いましたが、掃除機や洗濯機は電気を作り出す炭酸ガスが 6 倍。昔の私達は掃除も洗濯も自分でしました。団扇の代わりにエアコン、14 倍。そして自動車に至っては車をリサイクルするエネルギーや道路を作るエネルギーをいれると 1000 倍はかかると思います。一人一人がこうゆう生活をしていれば一人あたり 500 倍は当然ですね。

それをインドやアフリカの人に同じ様に減らせというのではなくて使っている私達が努力して減らさなければいけないということなんです。これは国連の結論です。そして先進国は京都議定書を定め其々の国が努力することになったのです。私達が日常生活でできる事は沢山あります。貴方の家のテレビは大きなサイズになっていませんか？冷蔵庫は？自動販売機を使っていませんか？24時間営業のコンビニは？車の排気量は？回りの車の台数は？環境教育が日本とは違うヨーロッパではまず一番の地球温暖化の大きな原因である自動車の規制があります。社会全体で止めようと言う事で街中には車乗り入れられない、マイカー通勤は原則禁止、自動車道路は作らない、という事は公共交通の整備に繋がっています。私達もなるべく車を使わずに歩く、使うときは公共交通機関を。買い物もゴミの出ない買い方を工夫する。少し暑くても寒くても工夫して凌いでみましょう。お風呂、気持ち良いです。でも地球上で毎日お風呂に浸れる人って僅か一割しかいないのです。毎日お風呂を沸かしている人なんてたったの1割。それを地球上の全ての人が出たらどうなるのでしょうか・・・私達が出来ることから始めて見ませんか？食事は一家団欒、ばらばらでその度レンジでチン！ではなくて。テレビもできれば一人一台のテレビじゃなく家族揃って観る。等など・・・高木さんは15年前に運転免許と車を棄て、徒歩と自転車、公共交通を利用。苦労や工夫をしながら暑さ寒さの厳しい大阪での生活です。テレビも一台、観る時間は一日に1, 2時間食後に家族揃って。その結果□木家はエネルギー消費10分の1、9割カットに成功しています。

一人一人が工夫して考えて行動に移せば1割は減らす事が出来るのです。貴方の気持ちと1歩を踏み出す勇気と行動があれば！

もっと詳しいことを知りたいならば：

新地球村宣言 ビジネス社 1680 円

地球村：<http://www.chikyumura.org/>